



# 令和6年度 北本市立西小学校 (小中一貫教育 学校4・3・2制推進校)



## <学校教育目標>

# に こにこ笑顔で、し っかり学ぶ、優しく、元気な西小っ子の育成

**<目指す児童生徒像>**  
 ~北本中学校区共通~  
 笑顔と優しさにあふれ、  
 自ら学びに向かう児童生徒

**<目指す学校像>**  
 安心・安全で美しく、保護者や  
 地域に開かれ信頼される学校

**<目指す教師像>**  
 情熱と倫理感をもち、自ら指導力  
 を高め、心身ともに健康な教師

**【学校経営方針】**  
 常に児童の立場に立ち、公教育の使命を自覚し、  
 教師としての力量と同僚性を高め、児童・保護者・  
 地域の信頼にこたえる学校を共創していく。



校木 ゆずり葉

**【今年度のメインテーマ】**  
 児童：「さあ、あしたに！」  
 (さきにあいさつ・あきらめない・  
 しせい・たのしく・にこにこ)  
 教職員：「率先垂範」

**1 学習指導の具体的な工夫・改善により児童の学力向上を図る**  
 ○「見通し」と「振り返り」そして「質の高い気付き」のある授業を展開する。  
 ○ICT機器を効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びを進めるとともに、児童の学びを止めない教育活動を展開する。  
 ○「道徳教育」推進校として、児童が豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の担い手となることのできる資質・能力を育む。  
 ○読書環境を整え、図書室の積極的な利用を中心に、日常的に読書を楽しむ機会を増やす。(晴耕雨読タイム)

**3 健康の保持増進・体力の向上に努め、たくましい子を育成する**  
 ○教科体育、全校運動等の充実を図るとともに、休み時間の外遊びを励行し、進んで運動し体を鍛える児童の育成を図る。毎週木曜日の「なかよしタイム」を「スポーツタイム」とし、全児童が外で体を動かすことを通して体力の向上を図る。  
 ○主体的に感染症対策に取り組むことで、進んで自分の健康に留意できる児童を育む。  
 ○保健体育、家庭科、特別活動の授業を中心として健康の保持増進に係る指導の充実を図る。  
 ○望ましい食習慣を形成するため、学校・家庭・地域の連携の下、食に関する指導の一層充実に努める。

**5 家庭・地域との連携を深め、地域と共に歩む学校づくりに努める**  
 ○「コミュニティ・スクール」の取組を通して、「地域とともに歩む西小」の実現に努める。  
 ○「マイ・ホームタウン・スクール」構想の実現に向けて、地域の人・もの・ことを大切に、PTA活動等でつながりをもてる機会を増やしていく。  
 ○保護者や地域に対して、ICT機器を活用しながら、より積極的な学校公開の機会を設ける。  
 ○デジタル化を進めながら学校の情報を各種通信や学校ホームページ等で積極的に発信する。  
 ○地域の人材や施設、自然等(人・もの・こと)と積極的に関わり、つながりを大切にするとともに、体験的な活動を重視し、特色ある教育活動を行う。  
 ○PTAや地域の協力を得て安全パトロールや通学班の見守り活動の充実を図り、児童の安全確保に努める。

**7 安全で潤いのある環境づくりに努める**  
 ○整備された情報機器類の積極的活用を図りながらDX(デジタル・トランスフォーメーション)を推進する。  
 ○「きれいで美しい学校」のよさに気付かせ、「無言清掃」など清掃指導の徹底を図る。  
 ○安全点検の確実な実施(教員、PTA、学校運営協議会委員、児童等)と早期対応を図り、掲示物等を含めた環境整備に努める。  
 ○学校応援団との連携を図り、安全かつ潤いのある校内環境づくりに努める。  
 ○意図的・計画的な掲示教育を通して学習意欲を高め、潤いのある学級・特別教室経営に努める。

**2 心の教育、生徒指導、人権教育の充実により、児童の豊かな心と社会性を育む**  
 ○あらゆる場面で、自ら進んで「あいさつ」「聴く力」「正しい姿勢」「正しい言葉遣い」ができる児童の育成を図る。  
 ○PTA等の協力を得ながら、家庭との連携を図り地域として誇れるような基本的な生活習慣の確立と規範意識を身に付けさせる。  
 ○いじめ・暴力行為・不登校の減少・解消を目指した取組を徹底する。  
 ○レジリエンス(失敗から立ち直る力)を育む。  
 ○自分のよさや得意分野に気付き、日々の生活の中で活かせるよう指導支援に努める。

**4 一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな支援を行う特別支援教育を推進する**  
 ○児童一人一人の居場所づくりのため、個に応じたきめ細かな指導を行える体制づくりに努める。  
 ○通常の学級において特別な配慮を要する児童の個別支援計画を作成し、特別支援学級での取り出し授業の実施などにより、適切な支援に努める。  
 ○特別支援学級と通常の学級との積極的な交流活動と情報交換を推進する。  
 ○特別支援学級における児童の実態に即した適切な指導計画の下に、無理のない範囲で、交流及び共同学習の充実を図る。  
 ○すべての学級や授業におけるユニバーサルデザイン化の推進を図る。

**6 異校種間の連携を深め、円滑な接続を図る。**  
 ○義務教育9年間の系統性、継続性を重視した北本中学校区における「学校4・3・2制」を推進する。教員や児童・生徒の積極的な交流を図り、小中間の円滑な接続を図るとともに、学力の向上、豊かな人間性の育成に努める。  
 ○関係教育機関との「幼・保・小連携」を推進し、小学校への円滑な接続を図る。  
 ○北本中学校区共通の研究主題を「キャリア教育の推進」とし、「生きる力」へと結び付く「基礎的・汎用的能力」の育成に努める。

**8 教えるプロとしての自覚をもった教職員集団の育成を図る**  
 ○一つの「チーム学校」として、「職務は厳しく、職場は楽しく」を目指す。  
 ○意欲的に研究と修養に努める教職員を育成するとともに、積極的な研修の機会を設定する。特に、道徳教育の充実、情報活用能力の育成、体力向上の研修を深める。  
 ○倫理確立委員会等を通し、自らを律し、法令を遵守する教育公務員としての自覚を持ち、教職員事故ゼロを継続していく。  
 ○ワーク・ライフ・バランスを大切にした働き方を実践するため、先を見通した職務遂行スケジュールを立て、心身ともに健康な教職員集団を目指す。

